



1月6日 昭和村消防団出初式 地域防災への気持ち新たに

昭和村消防団(小野誠^{まこと}団長)の出初式が村多目的屋内運動場で行われました。

式典では、堤村長が「自然災害や火災には日頃からの備えが重要。今後も引き続き、皆様のご協力をお願いします」と式辞。続いて小野団長は「日々災害への備えをし、活動を支えてくれる家族に感謝しながら地域防災の要として活動していきたい」とあいさつしました。団員は出席者からの激励を受け、決意を新たにしていました。



消防団員を激励する堤村長



1月8日 賀詞交歓会 新年の訪れを祝う

新年の訪れを祝う賀詞交歓会が1月8日、行政関係者や村内企業・各団体関係者など約100人を招き、村公民館で行われました。

式典では、堤村長のあいさつをはじめ片柳村議会議長ら来賓の方々より祝辞が述べられ、穏やかな新年の訪れを祝いました。

会場では催しとして、生越太鼓(林雄一会長)の皆さんによる見事な和太鼓の演奏が披露され、式典に華を添えました。



万歳三唱を行う参加者



1月18日 大谷翔平選手からグローブの寄贈 「野球しようぜ」大谷選手から届く思い

大リーグで活躍する大谷翔平^{しょうへい}選手が全国の小学校に寄贈したグローブが、1月初旬に村教育委員会に届き、村内小学校に配布されました。

南小学校(吉野満由美校長)では1月18日の朝礼の時間に贈呈式を行いました。代表児童2名へグローブが手渡され、児童たちは嬉しそうにキャッチボールを披露。キャッチボールをした吉野心絆^{まこと}さん(5年)は「メジャーで活躍している大谷選手のグローブを使えてうれしい」と笑顔で話しました。



グローブを受け取る児童たち(南小学校)



1月12日 昭和村いじめ防止子ども会議 いじめ防止に向け何ができるか

村教育委員会(小野和好^{かずよし}教育長)は、1月12日、村公民館で昭和村いじめ防止子ども会議を行いました。

主催者あいさつで小野教育長は「いじめは絶対にいけないこと。お互いが幸せな社会づくりを行っていきたい」と話しました。

会議では村内小中学校の児童生徒たちが、いじめを防止するため、年間を通して取り組んだ内容について発表を行いました。発表後、他校の取組のよかった点や真似したい点などを伝え合いました。



いじめ防止活動の報告を行う児童たち(大河原小学校)

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

1月14日 道の駅でどんど焼き 厄除け・五穀豊穡を願う

道の駅「あぐりーむ昭和」で毎年恒例の「どんど焼き」が行われました。やぐらには各家庭などから持ち寄られただるまや正月飾りが積まれ、川額八幡宮で宮司を務める竹内博道さんによる祈祷の後、堤村長により点火されました。やぐらは白煙を上げながら勢いよく燃え上がりました。

今年のやぐらは高さが8mほどあり、村内外から多くの人が訪れ、一年の家内安全や無病息災を祈っていました。



やぐらに点火する堤村長

11月19日 第28回全日本素人そば打ち名人大会 新人賞に続いて努力賞を受賞

群馬奥利根連合そば会に所属する小池瑠里佳さん(松ノ木平第二)が、「第28回全日本素人そば打ち名人大会」で努力賞を獲得しました。

小池さんは利根実業高校在学中にそば打ちを始め、現在は栄養士として勤務する傍ら練習に励み、名人大会へ2年連続となる出場を果たしています。「そば打ちを通して地域の人に笑顔や感動を与え、これまで支えてくれた周りの皆さんに恩返ししたい」と話してくれました。



努力賞を受賞した小池さん

1月24日 文化財の防災訓練 火災から文化財を守る

利根沼田広域中央消防署(小室亨署長)と村消防団(小野誠団長)は、1月24日、小高神社神楽殿で防災訓練を行いました。この訓練は26日の文化財防火デーを前に行われ、3年ぶりの実施となりました。

訓練は火災の通報を受けた時点から開始。防火水槽から水をくみ上げ、署員たちがホースを使い神楽殿の屋根に水をかけました。小室署長は「歴史ある文化財も火災が起こればなくなってしまう。消防団と合同で文化財を守る訓練が出来てよかった」と話しています。



神楽殿に放水する署員たち

12月14日 赤城原地区に防災倉庫を整備 災害に備える

赤城原自主防災組織は、いざという時の災害に備え、一般財団法人自治総合センターによる宝くじ社会貢献広報事業を活用し、防災備蓄倉庫及び防災備品を赤城原地区に整備しました。

この宝くじの助成事業は、地域のコミュニティ活動や地域文化活動、活力ある地域づくり活動などに対して一般財団法人自治総合センターが行っています。

区長の清水十三夫さんは「いざという時に備えられて安心した」と話しました。



整備された防災備品